

### 福岡市出身の彫刻家・外尾さん 知事表敬



小川知事にサグラダ・ファミリア教会の説明をする外尾さん(右)

「ガウディから学んだもの生かしたい」

福岡市出身の彫刻家で、スペイン・バルセロナの世界文化遺産サグラダ・ファミリア教会の「生誕の門」制作にかかわった外尾悦郎さん(57)が27日、県庁を訪れ、「スペインで学んだものを故郷でいかしたい」と

小川知事に熱く語った。教会は、建築家アントニオ・ガウディが設計を手がけ、着工から130年ほどたった現在も建設が続いている。外尾さんは1978年から建設に参加し、彫刻に携わっている。生誕の門

は2005年に世界文化遺産に登録された。外尾さんは、県内の学識者、財界人らでつくる応援組織「ソトオ・プロジェクト100人委員会」発会のため帰国。知事には、写真を使い、教会やガウディについて熱く説明した。

「バルセロナは世界のあこがれの街だが、福岡の持つ素材(の力)はもっと上だと思っている。長い間、ガウディから学んだものを是非故郷で生かしたい」と訴えた。知事は「福岡の自然や人情味は世界に誇れる。今後も勉強させてほしい」と応じた。

# サグラダ建設福岡の力を

アントニオ・ガウディが設計したスペイン・バルセロナの教会サグラダ・ファミリアの建設に当たる彫刻家外尾悦郎氏＝福岡市出身＝を支援する「ソトオ・プロジェクト」100人委員会」の発会式が27日、170人が出席して福岡市内のホテルで開かれた。

発起人は、坂口光一九州大工学研究院教授や石原進JＲ九州会長など。教会建設の支援にとどまらず、財団を設立してガウディの思想や理念を基に地域づくりを考える産学ネットワーク「ガウディ未来建求網2022」の創設のほか、研究所の開設などに取り組み。外尾氏は発会式で「私た

## 彫刻家外尾さん支援 地元で100人委発足



発会式であいさつする外尾悦郎氏（右）  
＝27日、福岡市中央区のタカクラホテル福岡

ちがこれからをどう生きるはぐくみたい」と述べた。か、共に考えていきたい」 外尾氏は1953年生まるとあいさつ。坂口教授が「外尾さんからは胸に残る言葉 彫刻家として天使像などのをいくつももらった。未来制作を担当。九州大客員教に向かつて福岡でその種を授も務める。



小川洋知事(右)にサグラダ・ファミリアの写真を示して説明する彫刻家の外尾悦郎氏

スペイン・バルセロナで130年近く建設が続くサグラダ・ファミリア(聖家族教会)の彫刻家で、九大客員教授の外尾悦郎氏(福岡市出身)が27日、県庁を訪れ、小川洋知事と会談した。

外尾氏は京都市立芸術大を卒業後、美術の非常勤講師を経て渡欧。1978年から建築家アントニオ・ガウディが設計したサグラダ・ファミリアの彫刻に携わっている。外尾氏の活動に賛同する企業幹部や大学教授が地元支援組織「ソトオプロジェクト100

サグラダ・ファミリア彫刻家

外尾悦郎氏が知事を訪問

人委員会」を発足させるのに合わせて帰国した。

外尾氏は、自然の造形を生かしたガウディの建築を踏まえ「自然の力を受け止めながら新しい世界をつくり上げていくガウディの知恵は昔から台風や地震を乗り越えてきた日本人と共通する。福岡から新しいインテリジェンスを広げていきたい」と述べ、今後の福岡での活動に理解を求めた。小川知事は「福岡県の豊かな自然と人情味は世界に誇れる。大陸に近く海外ともうまくやっていける」と応じた。